



石動山大窪道砦



最初に現われる（最も山外方向）堀切（砦3）



大窪道入口（石動山側）



大窪口の山内境界となる
大日真言板碑



所在地：石川県鹿島郡中能登町石動山

立地：尾根頂部、標高497m

城主：石動山天平寺

時期：戦国

見学時間（参考）：大窪道往復 約2時間

石動山七口のひとつで越中側の表参道だった大窪道にあり、山内境界を示す大日真言板碑から山内側の3箇所砦跡が確認できる。いずれも大窪道を攻め上ってくる敵軍に対応する構造であり、天正10年（1582）に織田方の佐久間・前田連合軍と戦った石動山合戦を前に天平寺衆徒が構築したと推定されている。

大窪道を攻める敵はまず右手の丘陵上の砦（砦3）から攻撃される。主郭に続く尾根を二重の深い堀切で遮断し、大窪道側に塁線土塁を設け身を隠して大窪道を進む敵軍を攻撃できる。次の砦（砦2）では大窪道に沿って右手にも道が並行する。同時期に道として機能していた可能性もあり、敵軍を分散し両側の丘陵上から攻撃したと思われる。両道と尾根続きを遮断するように堀切が貫通して横切り、敵軍の進攻速度を鈍らせている。

最後の砦（砦1）は大窪道の最終ピークにあり、大窪道の最終防衛戦として最も厳重な城郭施設が構築されている。大窪道が主郭中央を通過し、両側から大窪道を攻め上る敵軍を攻撃で



横堀（砦1）



堀切（砦1）



大窪道と並行する道（砦2）

きる。右手の主郭は櫓台を塁線土塁でつなぎ、直下に横堀が巡る。左手の主郭は尾根続きを敵軍が進攻できないように主郭前に2本、少し離れて2本の堀切を設けて大窪道を進むように強制している。

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>